

2023-2024 年度 第 1 回 神事協 広報情報委員会と業務支援委員会 合同会議議事録			
開催日時	令和 5 年 4 月 4 日 (火)	会 場	一般社団法人神奈川県建築士事務所協会会議室
出席者 (○)	(広報情報委員会) 副 会 長 ○杉本 (委員長兼務)・○小松 副委員長 ○白川 委 員 ○櫻田・○長友・○鈴木・近藤・○熊澤・○中山 (業務支援委員会) 副 会 長 ○永島 委 員 長 ○小山 副委員長 数田 委 員 渡邊・○金子・○田中・○磯・早川・大塚・○江間・○吉田		
進行：杉本副会長 1. あいさつ ・出席者自己紹介 2. 各種報告事項 ①日事連 令和 5 年度単位会組織強化支援事業申請の報告 ・杉本副会長より、申請内容（「(仮称) 会員サポートセンター」ホームページ作成関係）と収支予算について説明。 事業名称：(仮称) 会員サポートセンター設立にともなうコンテンツ作成と内外に対する広報拡充事業 事業内容：(仮称) 会員サポートセンター設立は、会員サービスの更なる向上と利便性を図るものとする。会員事務所の業務受託および経営サポートの拠点を設立するため、今あるサービスに加え新規サービスを開発し、会員に改めて説明紹介し、利用しやすいように整理する。更に会員事務所のサービス向上につなげるため、会員相互並びに会員と消費者のマッチングに寄与する仕組みづくりを行う。 予算：1,560,000 円（日事連補助金 1,000,000 円、神奈川会負担 560,000 円） また、令和 6 年 3 月末に報告書類の提出を行うこととなっていることを併せて報告。 3. 議 題 (1) 神事協ホームページ改定について ・現状ホームページはシステムが混在しているため、修正等が簡単に出来ないことを報告。出来るのであれば、改定も同時に進めていきたい。 (2) 「(仮称) 会員サポートセンター」ホームページ作成について ①「(仮称) 会員サポートセンター」の概要 ・永島副会長より、改めて目的、現在までの経過等を報告。 ②「(仮称) 会員サポートセンター」のコンテンツ等 ・会員に実施した、コンテンツ検討アンケートの結果とそれに基づくコンテンツ優先度を報告。細かな分析までは至っていないので、今後分析予定。			

	内容	対応方法など
第1位 (81%)	協力事務所紹介サービス (構造・設備・積算事務所などの紹介サービス)	事務的作業で対応可能
第2位 (77%)	講習会の受講料割引特典、過去の講習会をいつでも視聴できるアーカイブ受講サービス	システム等も含めて検討
第3位 (69%)	実務文書フォーマット提供	簡単にはできないが、対応する
第4位 (68%)	戦略企画講習会の開催	年間のスケジュール化
	業務災害補償プラン	(有)日事連サービス
第5位 (67%)	会員紹介サービス(専門性を持った委員会が登録名簿等を作成し、消費者等へ紹介)	事務的作業で対応可能(講習受講義務化)
第6位 (65%)	支部が受託する業務に必要な講習会、座談会、意見交換会の開催	ブロック支部委員会で対応か?
第7位 (61%)	専門家の紹介(法律、税金、労務など、他士業の専門家を紹介、相談できるサービス)	事務的作業で対応可能(協定締結)
第8位 (60%)	履行保証サービス	(有)日事連サービス (会員であれば保証されるイメージで)
第9位 (44%)	設計図書保管サービス	事務的作業で対応可能(外部紹介)
第10位 (35%)	廃業等の支援サービス	事務的作業で対応可能(事務局)
第11位 (31%)	ホームページ開設支援	事務的作業で対応可能(外部紹介)
第12位 (27%)	事業継承に関するサービス	団体の活用など (一社)湘南MIRAI 承継

・ホームページは別に作り、リンクする形を考えている。

<意見交換>

(小松)

- ・専門家紹介は良い。「(仮称)会員サポートセンター」の活動は継続していきたい。
- ・東京会のマネジメント支援センターも良いが、全てのサービス開始にはなっていない。

(金子)

- ・事業継承は、会社なのか、それとも業務内容なのかが不明であった。
→ (小山) 業務を誰かが引き継いで頂ければ、クライアントも安心するとの考え。
会社の売買(M&A等)の意味合いは薄い。

(白川)

- ・各事務所が直面している内容が回答されていると思う。そのため整理が必要である。
ミニマムか、マキシマムかを考える必要がある。また、追加する部分のスケジュール、費用などを含めて検討が必要であると考えます。
→ (小山) きっかけ作りのためにアンケートを実施。また、回答者とやり取りができるように記名式とした。コンテンツについては、回答が多いものから始められるとは限らないので、全体像をみながら出来るところからやっていきたいと考えている。
- (永島) 神事協ホームページのリニューアルも必要であると考えている。
→ (白川) 神事協ホームページにアイコンを作成し、サポートセンターホームページにリンクする方法が良いと思う。また、拡張性もあると思われる。

(田中)

- ・ホームページは、サービスの入口の話。それぞれのサポート業務の運営について、マンパワーが心配。
→ (永島) 運営に関しては、事務局任せではなく、WEB化で対応したい。

(杉本)

- ・サポートセンター自体の理解が出来ていない。圧迫感の無い形で実施していきたい。そのため、率直なご意見を出して頂きたい。また、皆様から支部会員の方へも説明して頂きたい。

(熊澤)

- ・ミニマムから始めることが必要。コンテンツの全てを実施するのは難しいと思うので、優先順位を付けて実施すべき。スマホやタブレットで見る方が多いので、ホームページはシンプルに、階層もシンプルにした方が良い。また、現在の神事協ホームページも悪くないと思う。

(磯)

- ・実施したアンケートの1～11は、サービスのコンテンツで若い人向け、それ以降はベテランの方からの要望が多いと感じた。二本柱の重要な所を押さえて、開始しては。
→ (杉本) 神事協としては、会員のターゲット層を絞ることが出来ないのが難しい所。
期間を決めて進めていく。

(中山)

- ・目玉となるものを重点的かつ戦略的に作り、その後は枝葉を作っていくのが良い。会員であることのメリットを前面に押し出し、非会員との差別化を図る。
→ (杉本) 限られたマンパワーをどう使っていくか、また、どこに焦点を当てていくのが重要。
(永島) 会員のメリットを分かり易くするために「会員サポートセンター」を作る。
今あるものをどのようにして見せていくのか。
「協力事務所（設備、積算等）の紹介」は、事務的に出来ると考えている。
「実務文書のフォーマット」は、簡単には出来ないが、取り組む必要がある。
講習の年間スケジュールの設定も必要。(福祉関係の内容も含めて)
(杉本) 積み上げていくのは、圧迫感があるので、今あるものを利用、活用していくこと。
コンテンツを分かり易く、重要化していくことが必要。

(長友)

- ・会員のみの公開するのか。別ページに作る方が良い。
現在のホームページの余計な部分（同じものが何個もある等）を整理、削除した方が良い。
見やすく、利用しやすいのが前提。

(鈴木)

- ・事務所を引き継いで協会と関わることとなった。その時に本会のホームページを知った。また、会員のページのパスワードも分からなかった。
ホームページは、シンプルでわかりやすいものが良い。また、会員のメリットも分かりやすく出した方が良い。煩雑化していると見なくなってしまうので。
→ (小山) 探していたものにたどり着かない、情報があるのに知らないのはもったいない。
年間スケジュールを一目でわかると予定を立てられるし、過去の講習内容も確認できると良いと思う。
今後は講習の実施方法（その場限りではない方法等）も検討していく必要がある。
(杉本) 講習会がいつでも見れるようにしたい。そのためにはシステムが必要。

(吉田)

- ・収入減少にならないようにする必要もある。初めに受講料を払えば、その講習が何回でも見れるのは良い。指導委員会で先日実施した講習は、60人が参集で参加した。この講習は、外（WEB）には出せない内容であったので、内容に応じて臨機応変に対応していければ良いのでは。
講師料が安い（原稿作成料もない）との声も上がっている。例えば、著作権的な考えで、受講料の〇%等と決めて払っても良いのでは。
→ (小山) 期間的なもの、例えば法改正の講習など、決まりごとが必要と考える。

(杉本) アーカイブも種類分け(講習の作り方など)し、課金システムで利用。

アーカイブA: 無料 作成コスト無し

アーカイブB: 有料 作成コスト有り 重要な内容

(白川)

- ・他団体でもオンライン配信を実施しているが、参集で実施しているものを配信するのは、現場にいないと分からない所が多いため、難しいと感じている。そのためには、オンライン用に作る必要がある。参集で90分の講習は受講できるが、オンラインで90分は耐えられない。そのために、編集が必要となってくるが、作業が大変。専門でやっているわけではないので、場合によっては何か月もかかってしまうこともある。

→ (小山) その課題をどうしたら良いのかを検討して頂きたい。

編集についてもアウトソーシングなど委員会で検討していきたい。

(江間)

- ・神事協のホームページはあまり使っていない。ホームページ内を検索できるようにしたら良いのでは。

(吉田)

- ・ホームページの要素には、外向きと内向きがある。例えば、外向きとして、苦情相談(電話相談)の案内や調査鑑定事務所の名簿、支部の情報などがある。

(江間)

- ・日事連の組織強化支援事業には、報告が必要でしょうか。

→ (杉本) 完璧なホームページは出来ないと思うが、報告書の提出は必要です。

(永島) 体裁を整えていきたい。

日事連への報告は、3月31日まで。そのためには、2月中にまとめて、3月の理事会で中間(進捗)報告し、提出となる。

(吉田)

- ・現状のホームページは、簡単に修正出来るのでしょうか。

→ (磯部) 修正出来るところは限定されている。前に作成したホームページのシステムも残っている。そのため、一体感も失われている。

(杉本)

- ・広報情報委員会でサポートセンターのホームページは作成、構築したい。

③作成スケジュール等

- ・広報情報委員会と業務支援委員会合同 正副会議

令和5年5月9日(火) 10:00~11:30 WEBにて

- ・広報情報委員会と業務支援委員会 合同会議

令和5年5月18日(木) 10:00~11:30 WEBにて

(2) その他

- ・なし